

An aerial photograph of a coastal town nestled in a valley, surrounded by lush green mountains. The town features a harbor with a pier and a sandy beach. The water is a vibrant blue-green. The mountains in the background are layered, creating a sense of depth. A semi-transparent white box is overlaid on the center of the image, containing the title text.

人と技術を地域と結ぶ 地域課題解決の取組

自己紹介

1993年

徳島県美波町出身

人口約5,500人の過疎地

2015年

大阪大学経済学部 卒業

三井住友銀行に入行 法人営業部配属

2018年

株式会社あわえに入社

サテライトオフィスきっかけにUターン

2022年

美波町議会議員に当選

2025年

株式会社あわえ 取締役に

**都市部と地方、
民間と行政の両面を経験**

去年は地域のお祭りの責任者を経験しました！

遊亀 聖悟

株式会社あわえ
取締役

美波町議会議員

「あわえ」の立ち上げ ～美波町の状況～

人口動態

(万人)

	昭和35年	令和7年	増減率
全 国	<u>9,430</u>	12,321	<u>30.7%</u>
美波町	<u>1.5</u>	0.5	<u>▲63.7%</u>

高齢化率

全 国

29.6%

美波町

49.5%

不都合な症状の数々

空き家率

21.33%

全国平均13.8%



町内高校0校

2006年と2009年に
町内の高校が
相次ぎ閉校

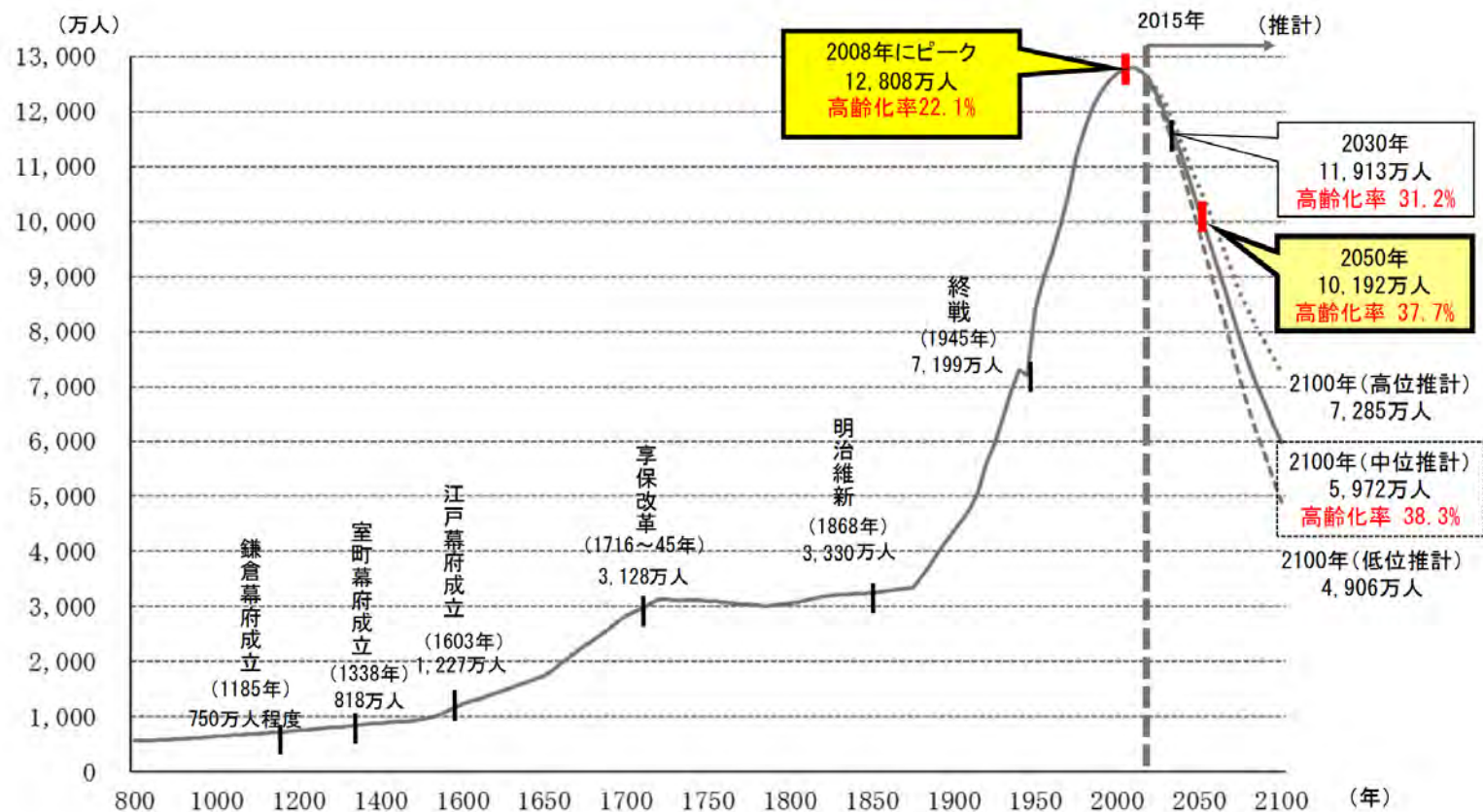


産業衰退

地域産業の従事は
ほぼ高齢者



「あわせ」の立ち上げ ～全国の場合～



出典：国土交通省「国土の長期展望」

人口減少を前提とした社会づくりが必要

私たちは場所を問わず、
一人が複数の役割を担える社会づくりに
取り組んできました。

「あわせ」の取り組み

サテライトオフィス誘致事業

都市部企業が、自社の強みを
活かして地域と関わる仕組み



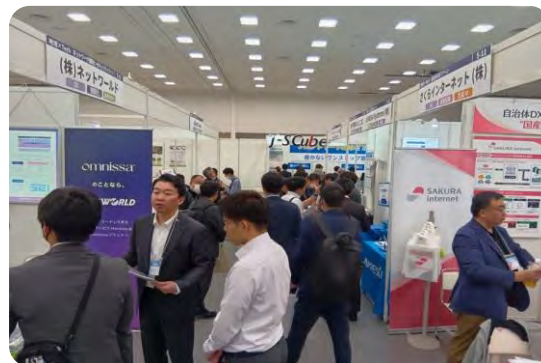
デュアルスクール事業

家族と子どもが、暮らしを体験
しながら地域と関わる選択肢



地域×Tech事業

技術と地域課題が出会う展示会



「あわせ」の取り組み ～サテライトオフィス誘致事業～



概要

自治体と連携し、都市部企業のサテライトオフィス誘致を進める事業

ポイント

人や自然に限らず、地域の課題をビジネスの可能性として発信

広がり

地域における実証実験から、本格導入、進出企業がソリューションを全国展開



「あわせ」の取り組み ～デュアルスクール事業～



概要

区域外就学制度や体験入学を活用し、都市部の子どもが地域の学校に通う仕組み

ポイント

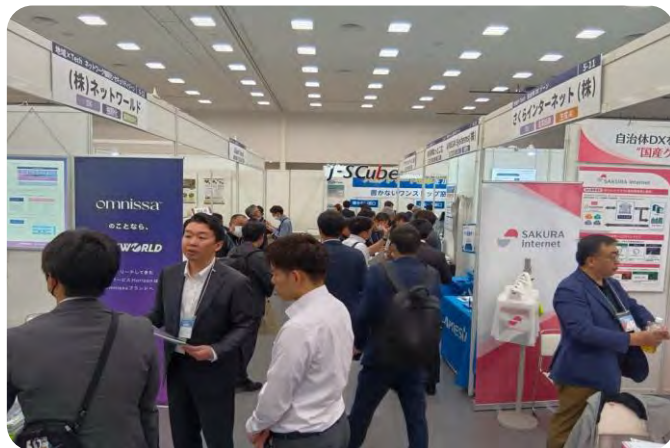
家庭と自治体の双方の希望を踏まえたマッチングを進める



広がり

徳島県内での実践を起点に、移住や継続的な関係につながる事例が生まれ、全国へ展開中

「あわせ」の取り組み ～地域×Tech事業～



概要

地方自治体に向けて、地域づくりに活用できる最新テクノロジーを紹介する展示会

ポイント

地域の金融機関と連携し、最新テクノロジーを地域で実際に見られる場をつくる

広がり

今年度は3,000人を超える自治体関係者が来場。開催地域も全国へ拡大中



人口減少時代に必要なのは、関わり方を設計すること

- 人口減少下では、「人を増やす」だけでなく、
関わり方の選択肢を増やす発想が重要
- そのために、企業や個人が地域と関わる入口を
(SO／DS／地域×Tech) として実装してきた
- 大切なのは、自治体・企業・地域・個人等
関わる人の思いを整理し、繋がりを作ること